

老年看護学実習

単位数（時間数）：3 単位（135 時間） 必修/選択：必修 履修年次：3 年次 開講時期：通年

科目責任者（職位・氏名）：教授・吹田夕起子

科目担当者（職位・氏名）：講師・齋藤史枝、助教・新沼伸子、助手・赤石美幸

対応DP：基礎力をもった社会人 ケア・スピリット 看護専門職者としての基本姿勢
看護の基礎的・専門的知識と技術 社会への関心と地域貢献 生涯学習・自己研鑽

科目記号：69

■ 授業概要

老年看護学概論、老年看護援助論、老年看護技術論での学びを活用し、医療機関で療養する高齢者の看護実践を学修する。高齢者の加齢変化や多様な生活歴、健康問題を理解し、生活の質を考慮した看護援助を実践するための能力を養う。高齢者の残存機能、セルフケアをアセスメントし、個別性を踏まえ、尊厳と自立を考えた高齢者主体の看護を実践する姿勢を修得する。保健、医療、福祉の連携にも視点を向け、高齢者の社会保障制度や地域ケアシステムについて理解し、応用するための基礎的能力を養う。

■ 到達目標

1. 加齢による変化と複数の疾病を持ちながら入院療養する高齢者を全人的に把握できる。
 - 1) 対象者の疾患の特徴と加齢変化について説明できる。
 - 2) 対象者及び家族等との関わりを通して、身体・心理・社会・生活面から、対象者を全人的に把握できる。
2. 対象者と家族の生活の質を考慮した看護過程を展開し、個別性に応じた看護活動を実践できる。
 - 1) 加齢や生活機能の面も含めて対象者をアセスメントし、看護問題（看護診断）を抽出できる。
 - 2) 対象者や家族の生活歴や価値観を考慮した個別の看護計画を立案し、実践できる。
 - 3) 実施した看護ケアを客観的に評価し、対象者に合わせて修正ができる。
3. 高齢者を取り巻く保健・医療・福祉システムの現状を知り、チームケアの必要性和看護職の役割を理解できる。
 - 1) 高齢者を取り巻く社会保障制度および地域ケアシステムについて理解できる。
 - 2) 対象者を取り巻く多職種との連携について理解し、チームの中での看護の役割について説明できる。

3) 病院と介護老人保健施設の機能や役割の違いを踏まえ、看護の継続性を理解できる。

■ 教育内容

老年看護学

■ キーワード

看護過程、高齢者の看護実践、加齢変化、全人的理解、フィジカルアセスメント、介護保険制度、多職種連携、家族、生活の質

■ 授業計画（授業項目、授業内容・授業方法、担当教員）

月・日（曜日）	授業内容・授業方法	担当
2024 年 6 月 10 日（月） ～ 12 月 13 日（金）	<p><実習方法></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 医療機関で療養している高齢者を 1 名受け持ち、高齢者の健康ニーズに応じた看護過程を展開し、生活の質を考慮した看護ケアを実践する。 2. 介護老人保健施設において看護職・介護職と共に行動し、高齢者との関わりや日常生活援助について学ぶ。 3. 多職種とのカンファレンスや会議等に参加し、チームの中での看護職の役割を理解する。 <p>*詳細は「老年看護学実習要項」参照</p>	共同

■ 先行要件

療養援助実習、老年看護学概論、老年看護援助論、老年看護技術論の単位を修得していること。
実習オリエンテーションに出席していること。

■ 成績評価方法

実習内容、実習記録、事前課題、事後課題（レポート）、実習態度、出席状況等により総合的に評価する。

■ 課題（試験やレポート等）に対するフィードバック方法

実習記録はコメントを付して指導を行う。

■ 教科書

- ・『デジタル ナーシング・グラフィカ』メディカ出版
老年看護学 ① 高齢者の健康と障害
老年看護学 ② 高齢者看護の実践
- ・リンダ J. カルペニート著（2023）『看護診断ハンドブック 第12版』医学書院

■ 参考書・参考資料等

・医療情報科学研究所編（2020）『看護がみえる vol.4 看護過程の展開』メディックメディア
その他、実習オリエンテーションや事前学習の際に実習担当教員より提示する。

■ 準備学修に必要な時間及び具体的な学修内容

事前学修として、提示される事前課題についての学修とフィジカルアセスメント技術、日常生活援助、療養援助の看護技術練習を行う。また、受け持ち患者の疾患についてまとめる。

■ 担当教員からのメッセージ

高齢者を対象とした専門的な臨地実習です。加齢による変化、フィジカルアセスメント技術、看護診断、および実習要項の事前課題を含め、老年看護学のすべての講義・演習の復習をしてください。

■ 研究室、連絡先、オフィスアワー

臨地で随時対応します。

実習オリエンテーションの際、担当教員の連絡先を提示する。

■ 担当教員の実務経験の有無

有

■ 担当教員の実務経験

看護師

■ 教員以外で指導に関わる実務経験者の有無

有

■ 教員以外で指導に関わる実務経験者

看護師

■ 実務経験を活かした教育内容

病院等での看護実務経験を踏まえ、高齢者を対象とした看護実践方法を教授する実習指導を行っている。